

2. 「東京の橋パネル展」の開催

土木学会創立100周年記念事業土木コレクション2014への協力

Report of the Tokyo's bridges panel exhibition

Corporation to the doboku collection 2014

技術支援課 菅井 太

1. はじめに

土木技術支援・人材育成センターでは、土木学会や地盤工学会、首都大学東京等との連携を図り、各学会・大学に有する最新の技術的知見と現場を持つ東京都が有する専門的な技術情報を相互に共有することによって技術力の向上に努めている。

土木学会土木の日実行委員会が毎年土木の日に新宿西口で開催する「土木コレクション」の運営に当センターが参画し、一般市民に土木を知ってもらう取組みを実施している。都建設局では土木コレクションのより一層充実化を図るため、「東京の橋パネル展」を企画し平成24年度から同時開催している。さらに、土木学会は平成26年11月に創立100周年を迎え、その記念事業として「土木コレクション」を全国展開したが、当センターはその運営にも協力した。

本稿では当センターが運営協力した土木コレクションの紹介と平成26年度に実施した「東京の橋パネル展」について報告する。

2. 土木コレクション

土木コレクションは、11月18日の「土木の日」にちなみ、「土木コレクション」として、土木界が保有する歴史資料、図面、写真など普段目にすることができない各種コレクションを公開、展示する

「HANDS 土木エンジニアドローイング展」と最近話題になった新しいコンセプトのプロジェクトについて展示する「EYES 土木エンジニアヌーヴォー展」を合わせて開催するもので、土木の魅力、土木の範囲の広さや奥深さを一般市民の皆さまに実感してい

ただき、日本の将来を支える社会基盤に関して共通の夢を持てることを目指すものである。

平成20年11月にはじめて開催されて以来、これまでに計7回開催され、平成26年度は土木学会100周年記念事業として、新宿、銀座など全国15か所において全国巡回展を開催した。（写真-1～2）



写真-1 オープニングセレモニーでの
テープカットの様子（新宿）
（中央：磯部雅彦土木学会第102代会長）



写真-2 銀座での展示の様子

3. 「東京の橋パネル展」 展示概要

「東京の橋パネル展」は、土木の魅力を伝えるという土木コレクションの企画目的に賛同し、都建設局が管理する橋について、主に隅田川に架かる橋を題材にしてアーカイブ資料を展示し、広く都民の方々に見ていただくことを目的とした。

平成26年度は11月19日（水）から22日（土）までの4日間、新宿駅西口広場イベントコーナーで開催した。都建設局では多くの古い橋を管理しており、その中には歴史的・文化的価値の高い橋も多数あることから、橋の魅力、歴史的・文化的価値の高い橋、地震への備えなどについて、パネルを使ってわかりやすく紹介した。

今回は、関東大震災の復興事業で建設された橋を中心に都建設局が所有する図面や写真、復興記念館所蔵「大東京復興模型」などを展示し、復興当時の土木エンジニアが東京の復興にかけた情熱を来場者に感じていただいた。また、オリエンタル白石株式

会社様より寄贈された貴重な永代橋の工事アルバムを展示するなど、昨年以上に展示を充実させた。

開催期間中、約2万6千人の方がご来場になり今年も大盛況の内に終了した。（写真-3～6）

4. 平成27年度「東京の橋パネル展」について

平成27年度は11月19日（木）から22日（日）の4日間、新宿駅西口広場イベントコーナーで「土木コレクション」と同時開催の予定である。

展示コンセプトは「明治・大正期に建設された隅田川の橋梁群」をテーマに、西洋文化を積極的に採用し近代日本の礎を築いた明治・大正期の土木技術者の姿に迫りたいと考えている。

当センターでは、当時の技術者の思いを少しでも多くの方々に感じてもらうため、当センターが保管する当時の設計図面などを展示すると同時に、他団体が所有する貴重な資料をお借りするなどして展示内容の更なる充実化を図り、来場者に土木技術の素晴らしさを伝えて参りたい。



写真-3 復興記念館所蔵「大東京復興模型」



写真-4 永代橋の工事アルバム



写真-5 手書き設計図面の展示



写真-6 復興橋梁に関する解説パネル展示